第16回企画展

日本点字図書館附属
池田輝子記念
ふれる
Tactus Museo
博物館

キャラクターをさわろう

正義と平和と愛のキャラクターに触れる

共催：
手と目でみる教材ライブラリー

2025年5月21日(水)
～9月13日(土)
開館日◎祝日を除く水・金・土曜

※8月13日・15日・16日は休館です

開館時間◎10時～16時
（10時、13時、15時、各1時間のご案内です）

● 事前予約制

協力：日本玩具協会
日本テレビ小鳩文化事業団
共用品推進機構
久米井靖裕
（元おもちゃ博物館館長）

【お申込み・お問い合わせ】

ふれる博物館　開館日
090-3247-7290（10時～16時）

その他の日は日本点字図書館へ
03-3209-0241㈹（9時～17時）

ご予約時には、お名前、人数、障害の有無、
電話番号等をお尋ねいたします。

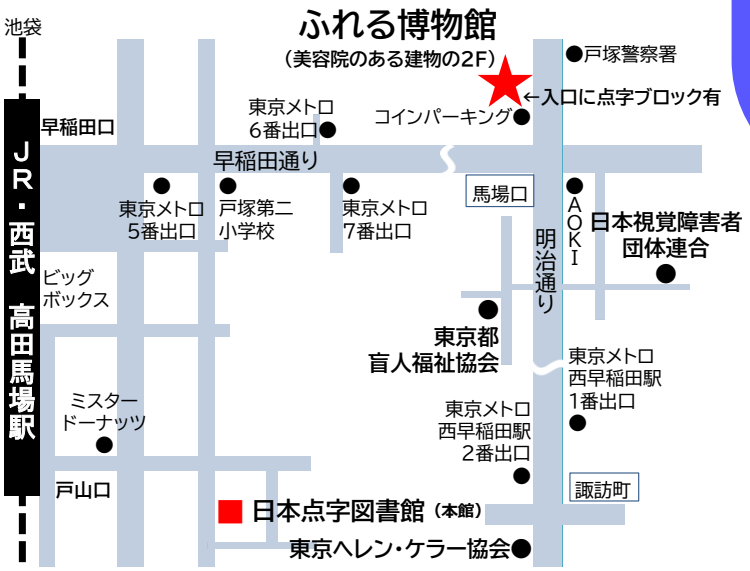
特別協力
株式会社 アガツマ
株式会社 セガ フェイブ Toysカンパニー
株式会社 タカラトミー
株式会社 バンダイ
株式会社 メガハウス
株式会社 メディコム・トイ

ふれる博物館　第16回企画展

キャラクターをさわろう

正義と平和と愛のキャラクターに触れる

視覚に障害のある人の中で、全盲と言われる人達は、日常触れる物以外、立体物のカタチについて知る機会はわずかしかありません。
テレビ、ラジオ、あるいはインターネットで紹介される、有名な建造物・乗り物・動物などについて、いくら言葉をつくし説明しても、全盲の人が想像したものとあっているかはわかりません。形を確認するすべは、本物・模型などに「ふれる」しかないのです。
印刷物、画像、映像で豊富に流れているキャラクターについても同様です。フィギュアやぬいぐるみなどにふれることでしか形は理解できません。たまたま家族がぬいぐるみを持っていて触れる場合もありますが、あっても数点でしょう。
キャラクターにふれるよい機会だった町のおもちゃ屋さんも激減してしまいました。
今や大きな文化の一つになったキャラクター。視覚に障害のある人たちもこの文化に取り残されることなく楽しめるよう、キャラクターワールドの入り口として本展を企画し開催致します。



ふれれば 目 開く想い

日本点字図書館は、創立以来、「読書のよろこび」に重きをおいて、多くの視覚障害利用者に図書の情報を届けてきましたが、見えないからこその「ふれて知る愉しみ」といったものについては、用具ショップで扱うおもちゃやゲーム類を除けば、積極的な関わりを持ってはきませんでした。

盛岡にあります「桜井記念・視覚障がい者のための手でみる博物館」や大阪の「国立民族学博物館」などでは、手で触れる美術品や工芸品などを楽しむ視覚障害者が大勢います。最近では写真に熱中する人さえおります。こうした視覚障害者の話を見聞きするたびに、当館としても、何か文化的な事業ができないかと考えていました。

それが今回の「ふれる博物館」につながったのです。見える人の世界では、百聞は一見にしかずという言葉がありますが、私たち視覚障害者にとっては、百聞は一触にしかずということがあるのです。まさに、ふれれば 目開く想いを抱き、聞くだけでは分からない豊かな情報を得ることができるのです。

今後どのように発展させていくかが課題ですが、現代の技術を使った展示品や歴史的資料の収集や、本間一夫記念室等と相まって、当館の基礎的な文化の発信などに努めていきたいと考えております。

社会福祉法人日本点字図書館　会長　田中徹二

東京都新宿区高田馬場2丁目3－14　アイ・ブライト2階
（1階は美容室　路上に誘導ブロック有）

アクセス
- JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線　高田馬場駅下車徒歩約10分
- 東京メトロ副都心線　西早稲田駅2番出口から徒歩約7分
- 駐車場はございません。

（2025.5.10）